

中野市の未来・・・
ともに考え、行動してみよう！



若者まちづくりワークショップ

第4回 資料 平成27年1月28日



ア. 全体プログラム(予定)

回	月日(曜)	内容	ひとこと
1	2014年 11月19日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ●オープニング&オリエンテーション ・市長あいさつ ・ワークショップとは？～概要説明 ・出席者の自己紹介 ・振り返りと展望 	はじめまして！まずはアイドリング、余計な緊張を解きほぐしましょう。
2	12月10日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと中野を再認識しよう ・中野市を取り巻く概況報告～統計データ等から ・市民意識の動向～市民アンケートから ●いよいよ、やってみよう！「中野市の現在を見つめて」 ・グループ分け(リーダー・書記の互選) ・どんどん出そう！ふるさとの強みと弱み<ワーク> 	ふるさとの現在(いま)に、データ等から触れてみましょう。そしていよいよ、行動開始です！
3	2015年 1月14日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ●課題対応と未来志向！「どんな中野市が良いのでしょうか」 ・前回ワークを踏まえた課題対応と未来志向の検討<ワーク> ・プロジェクトの検討<ワーク> 	現状からの進むべき方向・目標を考えてみませんか？
4	1月28日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ●これからの取り組みを考える「必要なこと、やりたいこと」 ・作業のまとめ<ワーク> ・プロジェクト提案検討シートの作成<ワーク> 	目標に近づくための取り組みはどうしたら？
5	2月10日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> ●プロジェクト提案発表会 ・グループ別発表 ・市長の講評 	成果を発表しましょう！堂々と、です！！

イ. 今回のプログラム

項目	ひとこと
●前回のふりかえり	いよいよ進んできた、みなさんのワーク。あらためて、これまでの積み重ねを振り返ってみましょう。(10分)
●「必要なこと・やりたいこと」	これまでやってきた、現状や課題認識、目標などを踏まえ、これからやるべきことや、やりたいことなどを考えていきます。いわゆる「施策・事業」と呼ばれるもので、みなさんなりのプロジェクトを提案・整理してください。(20分)
●「発表に向けての内容整理」	まちづくりの流れを一通り歩んできたところで、積み上がった成果をもとに、最終発表に向けての内容整理を行いましょ。(25分)
●本日の成果を踏まえた発表シミュレーション	いよいよ、最終回に向けて、成果が積み上がってきました。今回だけのご報告というより、次回、最終発表のシミュレーションをグループごとに行いましょう。(30分)
●次回に向けて(展望)	さあ、いよいよ次回、最終発表を残すのみとなりました。(5分)

2

ウ. プログラム「前回のふりかえり」

項目
●今回も、「なかの 若者WSつうしん」を発行しました。前回の流れを今一度、振り返ってみましょう。

3

エ. プログラム 「必要なこと・やりたいこと」

項目
<p>● 前は、「中野市をこんなふうにしたい」という思いを短冊にしたり、「こんな中野市に」というイメージを一言に集約する作業を行いました。前々回の「良いところ、良くしたいところ」と合わせ、まちづくりを実践に移す前提となる条件や意図が、かなり詰み上がってきました。</p> <p>● 今回はそれを踏まえ、いよいよ、まちづくりを進める具体的方策・方法を考えていきます。次ページの様式に、各自がイメージするまちづくりの取り組みをいくつか挙げてください。地道なもの、個性的なもの、アイデア勝負など、みなさんの感性次第で結構です。(財源はあまり気にせず・・・)</p> <p>● イメージした内容について議論しながら、グループとしてのまとめ表に内容を集約していきましょう。それが、あなたのグループの「まちづくりプロジェクト表」になります。</p>

4

エ. プログラム 「必要なこと・やりたいこと」・・・各自検討表

メンバーそれぞれが、自分の思いを手元で整理する様式です。次項目でこれらを集約・整理し、グループでの提案内容としていきます。

No.	方向性や事業内容を考えてください。		役割分担				期間のめやす		
	方針・方向性 事業等	内容 (進める上での期待、懸念等もあれば)	市民	企業・事業所	行政・公共	市外の方	短期 (~2年)	中期 (~5年)	長期 (5年以上)
例1	●●のまちづくり	・・・を・・・して、市民が集う。	◎	○	○			○	
例2	▲▲事業	・・・を整備する。		○		○	○		
1									
2									

5

オ. プログラム「発表に向けての内容整理」

項目
<p>●現状から取り組みたいことまで、みなさんは、まちづくりに関する一通りのプロセスを思考してきました。また、机上作業ながら、まちづくりのシミュレーションを実践したことになります。</p>
<p>●それでは次回(第5回)、最終発表に向けて、その成果をとりまとめていきましょう。</p>
<p>●先ほどまとめた「施策・事業・プロジェクト」と、前回までの「現状」「課題」「将来像」などがうまくつながるか？ つながらなくても、経緯を説明できるか？ ……最終発表も、なかなかの難関になるかも知れません。</p>
<p>●1点集中か、バランスか、オリジナリティあふれる？グループ名を創造したみなさんならではの力を発揮いただければ。</p>

6

オ. プログラム「発表に向けての内容整理」…未来戦略表

前項で各自が思考した内容をグループとして下表に集約・整理していきます。**各グループ3枚**、下表様式に整理して、のちほど提出いただきます。次回・最終回の主な発表内容ともなるものです。(★別紙にて枚数準備。発表用に模造紙使用可)

項目		内容	備考(イメージ等)
プロジェクトテーマ			
方針・方向性・事業等			
役割 分担	市民		
	企業・事業所		
	行政・公共		
	市外の方		
期間 の 目安	短期(～2年)でできること		
	中期(～5年)でできること		
	長期(5年～)を要すること		

7

カ. プログラム「本日の成果発表 & 次回の展望」

項目

- 今回は、今日の成果を発表いただくのではなく、次回(最終回)の発表に向けた、シミュレーション(準備・練習)をしていただきます。
- 最終発表では、第1回～第4回(今回)までの内容を発表・報告することになるので、そのための段取り・流れなどを調整・確認する時間とします。参考までに、最終報告については次のような内容が考えられます。(流れや内容は自由に組み替えて構いません。)

◇今回までの振り返り

- ・旅立ち ～ グループ名の決定、最初の思いや雰囲気 など。(第1回)
- ・最初のワーク ～ 「良いところ、良くしたいところ」(第2回)
- ・まちづくりへの思い ～ 「こんな中野市に」「将来像」(第3回)

◇まちづくりの実践展望

- ・行動しよう ～ 「中野市まちづくり未来戦略」(第4回)

◇その他 ～ メンバー全員からの一言感想コメント 等

- ◇質疑応答 ～ 質問事項等があった場合、お答えいただきます。

8

カ. プログラム「本日の成果発表 & 次回の展望」

項目

- 最終発表のイメージはできてきたでしょうか？ ちなみに最終発表、持ち時間は1グループあたり15分前後(10分～20分)を予定しています。)

●(参考)時間配分例

- ◇今回までの振り返り : 5分
- ◇まちづくりの実践展望 : 5～10分
- ◇その他 : 5分
- ◇質疑応答 : 数分

※最終発表では、タイムキーパーもグループで担っていただきます。
どのような伝え方が良いか、最後の難関？ みんなで乗り切りましょう！

9

カ. プログラム「本日の成果発表 & 次回の展望」

項目

●大事な最終発表ですが、リラックスしていきましょう。これまで、短い時間ながら、着実に成果は積み上がってきました。そうした思い出・経過をこれまで通り、率直な言葉で語っていただければOKです！

◇「伝える」ことの大切さ ～ みなさんの言葉で。

ギャラリーが多くても？あわてる必要はありません。堂々と、大きな声で、時にはゆっくり語りかけるように？話してみてください。みなさんは、ワークショップのプレゼンター。成果やそのプロセスには自信アリ、の姿勢を漂わせながら。

◇政策形成 ～ まちづくりにつなげる説得力

まちづくりや政策とは、必要性や重要性のほか、納得度、みなさんの意欲や情熱などによっても変わり得るものです。せっかくの成果ですから、当たって砕けろ！的な気持ちで、熱くぶつけると良いかも？

10

[メモ]

項目

11